

U17 ニードルズ (カルフォルニア)

少し古い話になるが、シュテファン・グロバツツのクライミング写真集、ロックアラウンドザワールドの表紙の写真を見たことがあるだろうか？ 少し黄色がかった垂壁を登っている写真なのだが、ここがニードルズである。

日本人で行ったことのあるクライマーはほとんどないと思われるが、紹介したい。

岩場は写真の通り、非常に美しく、垂壁主体のクライミングである。何よりその岩の美しさは目を見張るものがある。おそらく微細な苔かなにかが、岩の粒子に入りこんでいるのだろうが、岩の色が黄色、グリーンと、一部分があり、太陽に当たるときはきらきらと輝き幻想的である。しかしその苔？ ですべるようなことは全くなく、他の部分と表面の感じは変わらない。クライミングのほうは伝統的なアメリカンスタイルが貫かれており、ルートファインディングを要する長大なルート、かなりのランナウトで登るとらしるものだ。ルートも巨大な壁に本当にぽつりぽつりとある感じで、現代のクライミングスタイルでは考えられない。そしてここの特徴は、そのようなクライミングを高難度のグレードでも行っていることである。マルチピッチの高難度ルートも数多くある。

と、そんな場所なので、人口壁あがりのクライマーやどっかが専門には、かなり厳しいかもしれない。

しかし大自然の中で、美しい自然のラインを登るのはクライミングのひとつの楽しみでもある。ニードルズはそんな忘れかけていたクライミングの原点を思い起こしてくれる貴重なエリアである。

またサウスダコタにも同じ名前のニードルズというエリアがあるので、間違えないようにしたい。

岩質

花崗岩

ルート

感じとしては小川山のエクセレントパワーやかたつもりをイメージしてもらえるとよい。最低限のプロテクションと精神力、もちろん垂壁や薄被りの独特の技術も要求される。また随所にナチュラルプロテクションを効かせる必要がある。

またルートは、壁の途中(リフトをトラバースした)懸垂で取りつくから取りつくものもあるが、高度感が凄く、いっそう精神的にきつい。

しかし花崗岩のクライミングエリアでは全米でベストと、誰もが口をそろえるだけの内容のルートが揃っている。

私はシロッコ5.12a 3 ピッチ、タイタニック5.12c を登ったが、10年たった今でも忘れることのないクライミングとなっている。

シーズン

春から秋、11月から5月はRoad 21S05 が閉鎖となり入山できない。私は真夏に行ったが、寒いくらいであった。

宿泊

ほとんどのクライマーはRoad 21S05 の終点(駐車場)に宿泊していた。

ショッピング

本当の山の中である。人家も何もなし。大きな町で済ませていくこと。トポはthe needles area, Southern Sierra Rock climbing というものとSocal select Southern Rock climbing (こちらな簡単な紹介)というものがでている。ロスなどで購入してから行くこと。トポがないと全くたどり着けない。

アプローチ

ロサンゼルスからのアプローチを紹介する。ハイウェイ99を北上し、Earlimartの出口で出て、California Hot springsの方面へ進む。ハイウェイ190がでてきたらこれを北上、途中右からRoad 21S05が入るのでコレに入る(わかりにくい)このダウングレートを5キロほど走るとニードルズの駐車場になる。かなり迷ったので、要注意。

駐車場から岩場まで徒歩1時間半。